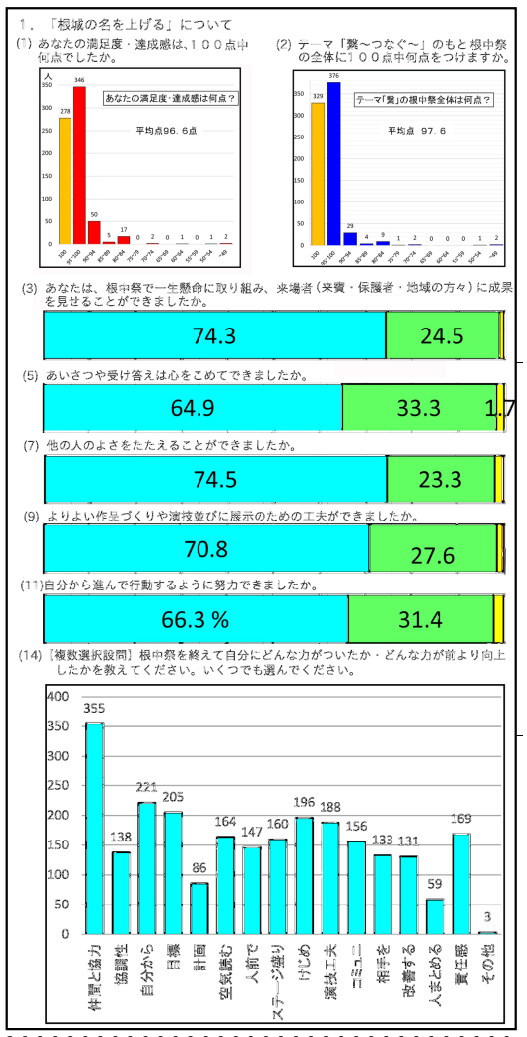
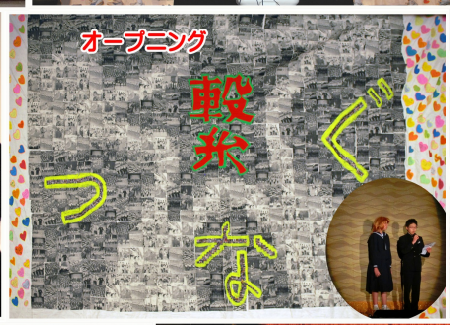
君は何を「繋ぐ」ことができたか？
仲間へ、そして先輩から後輩へ





一人一人の想いをつなぐことはできましたか？

先輩は後輩に想いをつなぐことができましたか？

学校だより
わいたか

第 26号
平成２８年１１月１５日
編集・発行
八戸市立根城中学校
〒039-1166
八戸市根城五丁目11-42
電話 0178-22-2065
文責　中嶋正喜

キャリア教育プラス１
根城の名を上げる

10月23日（日）に根城中学校文化祭「根中祭」が行われ、成功裡に終えることができました。生徒会が考えてくれた今年度のテーマ「繋ぐ」は、仲間同士、そしてこの根城中の伝統を守るべき先輩から後輩へのメッセージを繋ぐことという素敵な目標を与えてくれました。

生徒のアンケート結果を見ても、ほとんどが「よくできた・だいたいできた」の肯定的評価で本当にうれしく思います。

何よりも「自分の満足度・達成感」に百点をつけた生徒が実に278人（昨年度は222人）いたことが、大成功だったことを物語っています。また、根中祭全体としては、実に329人が百点をつけてくれました。この達成感が、自信や次への意欲につながっていくと確信しています。

1オープニング…みんなが達成感や感動を感じられるように、誰よりも忙しく、みんなが見ていないところで、生徒会執行部と実行委員会が頑張ってくれました。そのひとつが、オープニングです。テーマ「繋ぐ」のバックは、生徒達の写真が事細かく貼り付けられたもので、生徒みんなの魂が入っています。

2ドリームキッズ…オープニングを飾るバトントワリング。華麗な演技が、根中祭を盛り上げてくれました。練習会場や時間がない中、ありがとうございました。

3 1学年ステージ発表

根城中学校へ入学してからの7ヶ月間の学校生活をユーモアを交えながら発表してくれました。英語の授業も楽しくてよかったですが、朝の校長とのあいさつ風景がリアルでおもしろかったです。これからは、後輩を迎えるにふさわしい学年になるようにさらに頑張っていきます。

4 2学年ステージ発表

キャリア教育の大きな柱となるグッジョブの発表でした。クイズ形式で会場のみんなを巻き込んでの発表は、よかったと思います。何より、ファッションショーはグットアイディアでした。とても新鮮で、しかもよくわかりました。

5 3学年演劇「走れメロス」…太宰治の「走れメロス」を現代風にアレンジしたもので、何と劇中で八戸の名産や観光地を紹介するという画期的なアイディアが盛り込まれていました。この展開は大丈夫？と思って始まった劇も内容が進むにつれて引き込まれていき、最後には感動を与えてくれました。３年生の演技力の高さと団結力を見せつけられた気がします。

6合唱部…全日本合唱コンクール東北支部大会金賞に輝いた合唱部のすばらしい歌声が披露されました。「歌で笑顔に」というスローガンのとおり、みんなの心を繋ぐすばらしい演出と歌声でした。

7PTA食堂 喫茶 バザー…今年は、近年にないくらいの繁盛ぶりで、とてもうれしく思います。お手伝いいただいたPTA実行委員やおやじの会のみなさんには、心から感謝いたします。

8吹奏楽部…全日本吹奏楽コンクール青森県大会金賞の実力で、普段ではあまり聴けない楽しい曲や3学年の職員が飛び入り参加でとても盛り上がりました。やはり、文化祭には吹奏楽部がなければ始まりません。これも、日々の練習の賜です。

9エンディング…生徒会執行部と実行委員会のみなさんの頑張りのすべてが報われた瞬間だったと思います。発表や準備風景の振り返りの映像の企画は、自分たちの活動の跡と心を繋ぐことが確かめられたとてもよい時間となりました。

最後に全校生徒で歌ったスピッツの「空も飛べるはず」は、「君と出会った奇跡がこの胸にあふれている～」の歌詞が根中祭を締めくくるにふさわしい心のこもったものとなりました。根中祭を最後に引退する4人の生徒会役員のみなさん本当にお疲れ様でした。そして、成功に導いてくれた3年生のみなさん、1・2年生のみなさん、お疲れ様でした。

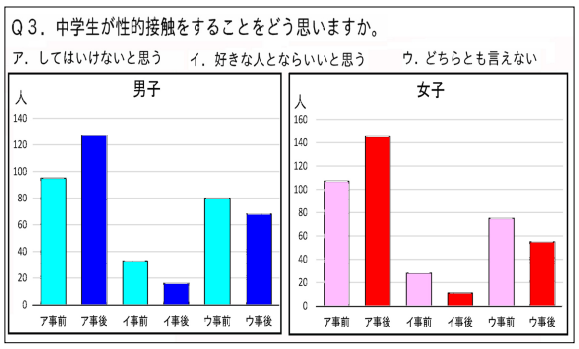
合唱部全国大会銀賞に輝く

本校合唱部が、10月30日（日）に香川県高松市で行われた第69回全日本合唱コンクール全国大会に出場し、23名という最少人数（多いところは66名）にも関わらず、見事銀賞を獲得することができました。私も一緒に行って全国の歌声をほとんど聴くことができました。その中で、想いを伝えるという観点で言えば、どこにも負けないすばらしいものでした。

今回驚いたのは、数分間の合唱のための準備というのが、本当に大変だということです。会場の確保や体調管理、気持ちを高めることなどすべてに気持ちを配ったからなし得たことだと思います。

最後になりましたが、遠くまでご一緒いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。お陰様で、生徒達も安心して演奏できたと思います。

今回の体験が、来年度につながることを楽しみにしています。

いのちを育む教育講演会

10月26日（月）に「いのちを育む教育講演会」が行われました。講師は、すわクリニック産婦人科医の後藤高志先生です。「思春期のこころとからだ～いのちとからだの大切さ～」と題して、①絶対にやってはいけないこと、大人になったらやってもいいこと ②大人になるまでできればやらないほうがいいこと についてスライドを使ってわかりやすく教えていただきました。性を取り巻く環境や性感染症についても具体的に伝えてくれました。ショッキングだったのは、人工中絶で赤ちゃんが、場合によっては形がない状態で取り出されることでした。大事なことは、きちんとした知識をもって、最後には自分自身の体を自分で守るということだと思います。私たちは、考えられないほどの奇跡の上に産まれてきています。その命や体を決して粗末に扱ってはならないのです。